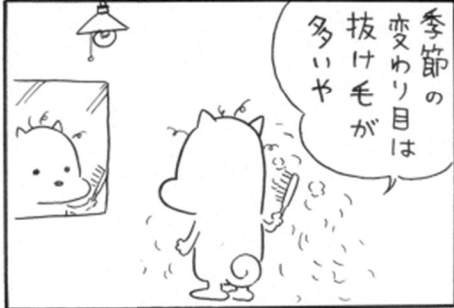


# 3R瓦版（10月号）

負けるな!  
エコ3Rくん  
作: フジコイトウ



© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

## 秋に考える、私たちの消費

秋が次第に深まって来ました。秋と言えば、食欲の秋、ファッションの秋。美味しいものが食べたい、おしゃれがしたいと思う季節だからこそ、立ち止まって私たちが消費しているものの背景を考えてみたいと思います。

### ■例1 食卓の魚

スーパーなどで安い価格で購入できるマグロやウナギ。しかし自然界では、これらの魚は減少しています。

本マグロと呼ばれ寿司の主役である太平洋クロマグロは、遂に昨年、国際自然保護連合により絶滅危惧種に指定されました。世界最大の消費国である日本の責任は重いです。国際環境 NGO グリーンピースによると、今、海に残っているのは初期資源の僅か4%とのこと。漁獲量の約9割は30キロ未満の未成魚で、このうち日本が6割、メキシコが3割、韓国が1割を占めています。海で卵を産む前に捕獲されてしまえば、増える訳がありません。今年8月、人類は他の動物を過剰に殺し続ける「スーパー捕食者」だとする分析結果を、カナダ・ビクトリア大の研究チームが米科学誌サイエンス電子版に発表しましたが、まさにそのとおり。

減っている魚を消費しなくても、私たちは生きていくことができます。私たちの世代で魚を獲り尽くすのではなく、少し我慢し、次の世代も魚をいただけるように数が回復するまで待ちたいものです。

### ■例2 安くおしゃれな服

安く、それなりにおしゃれなファスト・ファッションの衣類。しかし製造コストを抑えるために、海外で劣悪な環境での労働を強いられている人たちが少なくありません。余裕があるときには、作っている人に公正な賃金が支払われるフェアトレードや、損傷したら修理してくれるメーカーの衣類の購入を選択肢に入りたいものです。

もう一つ秋になると気になるのが、コートの襟やカバンなどにあしらわれたリアルファー（動物の毛皮）。これらは肉を取った後の副産物ではなく、ウサギ、キツネ、犬、猫などを毛皮を取ることを目的に殺して作られたものです。必要以上に他生物の命を犠牲にすることは、なるべく避けたいと思います。今は本物ではないフェイクファーでも本物そっくりの素材があるので、ファーが好きな方はフェイクファーを使用した製品を選んでいただけると幸いです。

自省を込めて、この秋、消費しているものの背景に思いを巡らし、なるべく他生物や外国の人たち、次の世代に負担をかけない消費を心掛けたいと思います。

いきもの多様性研究所 副代表 小山直美

RepairFactory (有)本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見220番地

tel : 0774-66-6254